

館報

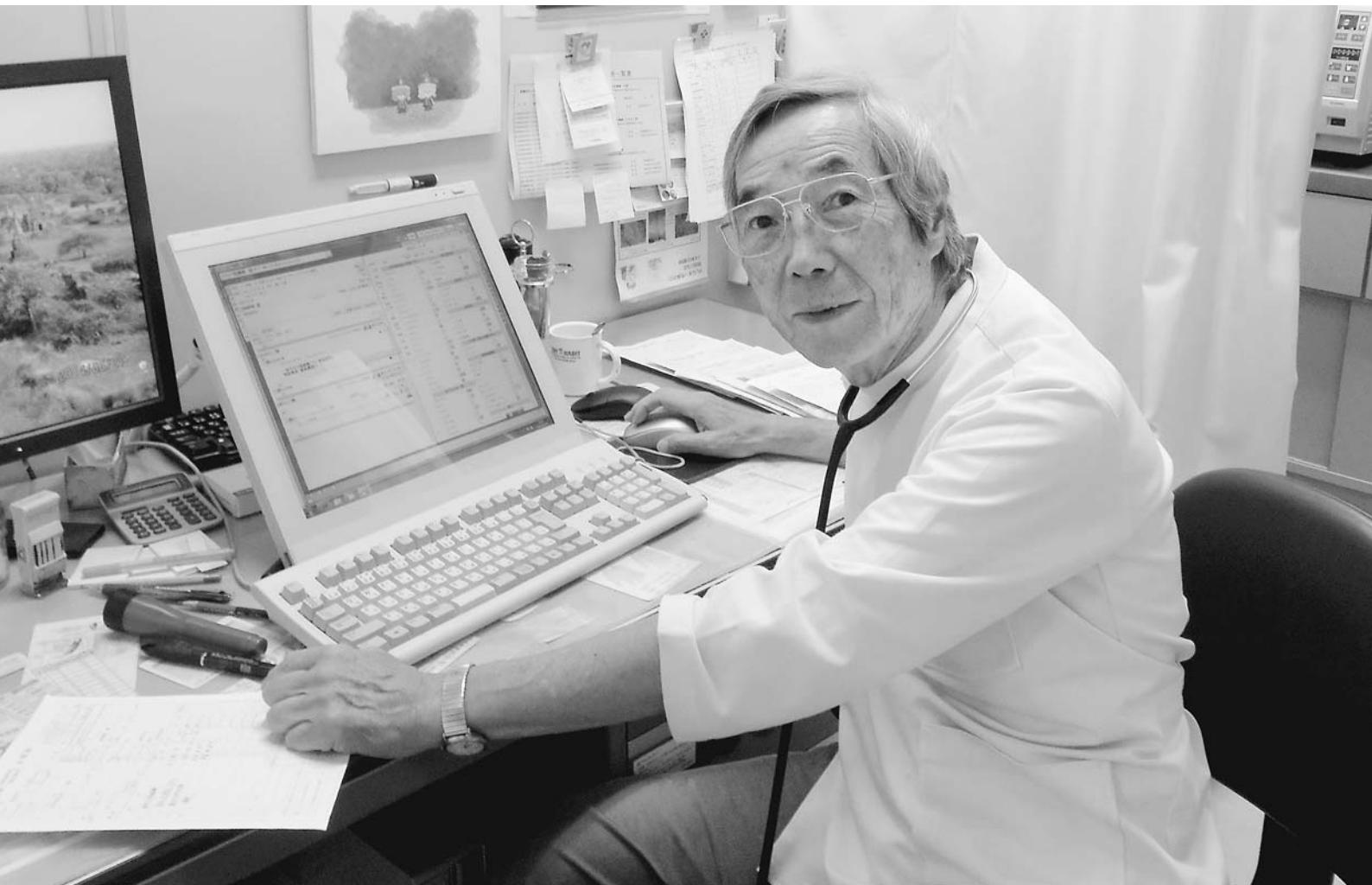
やまかた



11月

No. 703

平成26年



開業医

横山 健さん(下大池)

開業25年目の横山医院。現役の医師で院長の健さんは御歳79歳。「山形村の医療は開業当時こそ遅れていたが今は充実してきている。しかし、これからは自分を含めた高齢化社会が課題」。

現在は息子の太郎さんも診療に携わるようになり開業当初よりは楽になつたそうだが、地域の身近な存在でありたいと訪問医療や夜間・休日対応で忙しい日々を過ごす。空いた時間は山へ向かい登山などを愉しみ健康維持にぬかりはない。

「酔生夢死」が座右の銘という。何もせずにむなしく一生を過ごすことの意ではあるが、この意味することとは真逆の生き方をしてきたに違いない先生から笑顔がこぼれた。

(H26.10.22 横山医院にて)

健
姿
シリーズ



ナイターソフト Bリーグ優勝 西下

早起き野球。 ナイターソフト リーグ戦閉幕



ナイターソフト Aリーグ優勝 おちこぼれ

◆早起き野球個人賞表彰	
打率	
第1位	中林 岳大
第2位	柴田 健一
第3位	宮前光太郎
(ホームラン王)	田口 克広
竹野入賢司	村山 誠
柴田 健一	田口 克広
(最多勝利投手)	竹野入賢司
竹野入賢司	



早起き野球 優勝 四ツ谷アップルズ

いちいの里において、10月18日㈯にナイターソフトボーラー連盟、10月25日㈯に早起き野球連盟の閉会式が開催され各賞表彰が行われました。慰労会では、チームの垣根を越え、共に戦ってきた仲間と酒を酌み交わし、一年の労をねぎらっていました。来年も優勝を目指し、また、個人賞も目指して頑張りましょう。



11月9日㈰、恒例の上竹田分館バスハイクが行われました。今年は、72人が参加して飛騨高山方面に出かけました。宮川の朝市で買い物をした一行は、飛騨高山まつりの森で、高山屋台の見学をし昼食

上竹田分館 バスハイク

207試合が行われます。10月21日㈫の初戦を皮切りに熱戦の火蓋が切られました。

ソフトバレー リーグ戦開幕



をとりました。午後は、古い街並みの自由散策があり、思い思いに楽しい時間を過ごしました。帰路の道中では、飛騨高山ラーメンの板藏に立ち寄りここでも試食や買い物を楽しみました。参加者は「個人的にはあまり出かけないコースで楽しかった」と感想を述べていました。



山すそ

9月に鉢盛中学校
昭和58年度卒業生同
窓会を開催した。中
学を卒業してから30
年。会場のホテル翔
峰には約100名の懐か
しい顔ぶれが揃った。卒業
して別々の道に進んだ仲間
たちが30年ぶりの再会を果
たす。嬉しい反面、時の流
れはある意味残酷である。

当時憧っていた男女子の
「おじさん化」、「おばさん
化」した姿を目の当たりに
し、こんなはずでは…と切
なくなつた人も少なくない
だろう。▼そんな中、とても
嬉しかつたのは、5クラス
の先生方の元気な姿を拝見
できたことである。特に80
歳を超えるY先生。もうじ
き80歳になろうとしている
K先生。この二人のパワー
は尋常でなく、昔話に花を
咲かせ夜遅くまで酒を酌み
交わした▼プロ野球ではス
トーブリーグが始まり、選
手の去就に注目が集まる。
そんな中、49歳の中日ドラ
ゴンズ山本昌投手を筆頭に
40代の選手が13人もいると
いうのは驚きだ。そういう
私たち鉢盛中学校昭和58年
度卒業生もまだまだ46歳。
頑張れ40代!



将来を夢見て

鉢盛中学校職場体験学習 10/21(火)～23(木)

行つてきました

小学校修学旅行

村内外の59事業所からご協力をいただき、2年生が医療・販売・農業などの職業体験をしました。生徒たちからは「楽しかった」「思っていたよりたいへんだった」などの感想が聞かれました。それぞれに真剣に取り組み充実した3日間を過ごしました。



心豊かな育ちを願って

～第54回長野県保育研究大会開催～

10月18日(土)・19日(日)の2日間、山形村を会場に保育大会が開催されました。県内で保育に携わる人が、保育技術の向上や安

心して保育できる目的におよそ600人が参加し、分科会や研究発表、式典が行われました。また、アトラクションとして上大池祭囃子保存会の「獅子舞」と「おかめひょつとい」が披露されました。



動・発見』 村総合文化祭



キッズ・ダンス・ボックス



山小金管バンド

ウインドアンサンブル



フラサークル

クルミの殻で作ったカメは大好評



彌磨太鼓

カードケース作り

11月1日(土)・2日(日)、第64回山形村総合文化祭が開催されました。

昨年より作品の展示は、研修室と体育館で分散展示する方法から、体育館での集中展示となり、一か所ですべての団体の作品を観ることができました。1日目に芸能発表会、2日目は俳優・宝田明さんの講演会と、両日ともたくさんの人で賑わい、大盛況のうちに幕を閉じました。



会場の皆さんと一緒に熱唱

**「俳優として
人間として」
宝田 明さん**

今年で芸能生活60周年を迎えた宝田さんは、自分の生き立ちや東宝時代の事を時にユーモアを交えながら語られました。

旧満州ハルピンで生まれ育ち、戦争を目の当たりにしてきたことや鉛弾を受けたことなど壮絶な体験談や、東宝で三作目に主演を射止められた映画「ゴジラ」が核実験の放射能汚染という問題を背景に持つなど、戦争の悲惨さや命の大切さを話されました。



民話クラブ「灯」



山形ヴァイオリンクラブ

夕月琴クラブ

社会部食堂復活 ～2階食堂にて～



こどもコーラス Tanpopo



山形音楽クラブ



ロケットストーブ・エコライフの会



山形ジョイ♪ハーモニカ



祝・松本山雅J1昇格

アルワインホームゲーム 山形村テーはお祭り騒ぎ

11月9日(日)、アルワインでの松本山雅対ジェフユナイテッド千葉戦にあわせて山形村テーが開催されました。J1昇格後初となるホーム戦は凱旋試合ムードに溢れ、試合に先駆けて午前中に行われた山形村主催の各種イベントには、両チームサポーターをはじめ多くの観客が訪れ、試合の方も見事、2対1で山雅が勝利したことで、最高のイベントティーとなりました。



語り継がれて40年
設立40周年記念式典

11月16日(日)、民話クラブ「灯」の設立40周年記念式典と記念上演会がトレーニングセンターで行われました。

昭和49年11月に当時教育委員だった長谷川久美さん（故）

人が中心となり「自分たち

も学びながら、地域の子ども達に童話や昔話を伝承した

い」との思いから有志で発足し、紙芝居の製作や語りの活動を続けてきました。

灯は、現在14名の会員で月1回

の語りの勉強会を開き、村内の福祉施設や小学校で紙



民話クラブ「灯」

設立40周年記念式典

11月16日(日)、民話クラブ「灯」の設立40周年記念式典と記念上演会がトレーニングセンターで行われました。

この日は、記念式典に先駆けて水が乏しい村に農業用水を確保した若者の物語の「与一と米のまんま」や村出身で普通選挙の普及に取り組んだ「中村太八郎伝」など四話を

上演し、来場した約40人は懐かしい紙芝居の世界に引き込まれっていました。

引き続き行われた40周年記念式典では、製作当時に携わった方々をお招きし、当時の懐かしい話に花を咲かせながら40年間を振り返っています。

11月9日(日)、第25回道祖神と新そば祭りが開催されました。時折、小雨が混じるあいにくの天気でしたが、大勢の参加者が集まり、熱気に包まれていました。

今年は開村140周年を記念して、先着140名に「皿そば」が

道祖神と新そば祭り

一皿サービスさ
れ、さらに、開催25回を記念して、先着25家族に「長いもの」

が1本プレゼントされました。

1,400食限定の新そばを求め、新潟県から5時間かけて来られた方もいました。

また、道祖神巡りでは、村内外から参加された20名は、

案内人の籠田次郎さんの丁寧な説明を興味深く聴いていました。



おぐやみ

籠田	籠田
百瀬	等
川上甲子美	登市
平沢	90歳
草間美知子	88歳
95歳	下竹田
歳	上竹田
上竹田	坂

林	倉科
折井	希羽
美心	大凱
恵	祐輔
	剛
	郁恵
	宏章
	弥生
	上竹田
	下竹田
	下竹田
	下竹田

おめでた（子・親）

風

(敬称略)



国体優勝!!

空手道少年女子形・県勢初の快挙
松本第一高校2年 石原 優さん(小坂)

長崎国体に出場して

石原 優

昨年に続いて二度目の出場となつた国体。全国の各地区からの代表選手が集まり、流派を超えての戦いでした。去年の五位入賞よりも良い結果を残したいと思っていたのですが、事前のトーナメント発表を見たら、一回戦からインターハイ三位の相手…。

続く二回戦の相手も春の選抜三位。目の前が暗くなりましたが、とにかく自分の持つている力、やってきたことを出しきるしかないと思い、毎日必死で練習しました。

五歳から始めて十二年間、ほぼ毎日道場に通い生活の大半を空手が占めていました。

いつからか思い続けていた、「長野」をつけての国体出場。

上位を狙うよりも自分の納得いく形を演武しようと決めて臨みました。相手がどんな相

手でも、師範を信じ、自分を信じて自分の形を魅せることに集中しました。一戦ずつ勝ち進み、決勝は開催地長崎の年上の相手でしたが、長崎の応援コールも気にならないくらい集中していました。

が終わり判定。審判の旗すべてが私に揚がり、場内は大きな拍手や「優、おめでとう!」という声でいっぱいになりました。出発以来、生活を共にしてきた長野県チームの仲間も監督も立ちあがって喜んでくれ、久しぶりにあつた両親にも笑顔で手を振りました。

自分を信じて勝ち取った国体優勝。ここまで辛いこともたくさんありました。空手のことはもちろん、礼儀や生活すべてに厳しく、時には突き放し、でも誉めてくれることもたくさんあつた指導、全てがこの優勝のためになつていいのだと、今、師範に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、どんな時も応援し、協力してくれる父や母、兄たちに感謝し、初心を忘れずにまた基礎から頑張つていこうと思

います。

手でも、師範を信じ、自分を信じて自分の形を魅せることに集中しました。一戦ずつ勝ち進み、決勝は開催地長崎の年上の相手でしたが、長崎の応援コールも気にならないくらい集中していました。

が終わり判定。審判の旗すべてが私に揚がり、場内は大きな拍手や「優、おめでとう!」という声でいっぱいになりました。出発以来、生活を共にしてきた長野県チームの仲間も監督も立ちあがって喜んでくれ、久しぶりにあつた両親にも笑顔で手を振りました。

自分を信じて勝ち取った国体優勝。ここまで辛いこともたくさんありました。空手のことはもちろん、礼儀や生活すべてに厳しく、時には突き放し、でも誉めてくれることもたくさんあつた指導、全てがこの優勝のためになつていいのだと、今、師範に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、どんな時も応援し、協力してくれる父や母、兄たちに感謝し、初心を忘れずにまた基礎から頑張つていこうと思

手づくりを育てる

シリーズ④



ナイアドライブリコー
2014



山形村図書館の秋の恒例行事となつたナイトライブラリートークが14日(金)・20日(木)・26日の三夜にわたり開催されました。初日は「村岡花子の世界」をテーマに、今年朝ドラで話題となつた村岡花子の創作童話と翻訳絵本を楽しみました。参加者は大人も子どもも物語の世界に引き込まれてい

幼児の脳の教育は母親の手作り教育で

大きくなつたら、単に話し掛けただけなく、問い合わせて、その答えを聞きながら話をすなつてします。さらに自分で考えさせ、一

幼児が少しありました。そこで子どもの脳の発達に応じて、気長にやらないと、話をすることがあります。そのため、親はそれぞの脳の発達に応じて、気長にやらないと、話をするので、親は思ひがけない、奇抜な答えが返ってきて、頭ごなしに否定したり、おとなへの回答を押しつけたりするのは間違っている。





分館を通じての 一体感 中大池分館役員



KIZUNA

先月行われた村民運動会において、21年ぶり2度目の優勝を遂げた中大池分館。6分館の中でも小さい事もあり、選手集めには毎年苦労する。今年は転入してきた区民にも役員が積極的に声かけをし、初めて参加する方を温かく迎え共に楽しむ姿があつた。

綱引きと太玉送りは大勢の選手が必要となり、応援席がひと際さびしくなるのは恒例の風景だが、その綱引きで「気持ちがひとつになり、2連勝して勢いがついた」と小口浩司分館長は話した。昨年の準優勝から今年こそは悲願達成をと、中村幸一副分館長は「一步前へ」と自ら書き込んだメガホンを手に、大きな声援を送り続けた。社会部長の藤沢啓太応援団長を中心とした応援も一体感があり、こちらも優勝に値する光景であった。

分館役員の任期は2年で今年が終わりの年となるが、上條竜司体育部長は「俺が会社の社長なら、部員全員を雇いたい」と語った。中大池分館の優勝と役員の思いの中に、とかく義務感となりがちな分館活動を盛り上げるひとつヒントがあるのではないだろうか。

田中 希未佳さん
下竹田
いて座

小林 涼平さん
下大池
しし座

青と緑

幸せ届ける
素敵な笑顔



世界を目指す
料理人

東京の専門学校で料理を学んでいる涼平さん。学校の授業以外にも、世界的なシェフである師匠の下で時間が許す限り修行に励んでいます。まさに料理漬けの毎日を送っているが、「とにかく成長したい一心で料理に没頭しているので、あまり苦にはなりません」と語る。

将来の夢は、世界のトップシェフの仲間入り。そして、世界中で料理を通して色々な支援活動をしたいとのこと。料理人という仕事に魅力を感じ誇りを持つ涼平さんが、世界で活躍する日が楽しみだ。

小さい頃からおじいちゃん、おばあちゃんが好きだったといふ希未佳さんは、高校卒業と同時に介護施設での仕事をしている。お年寄りの介護をする中で大変な事も多いが、「自分らしい笑顔のサービスが出来るよう工夫しながら仕事をしている」と話す。

休日の楽しみは、好きなアーティストの追っかけ。先月には日本武道館でのライブにも足を運んだ。

人を笑顔に出来るのが特技と言う希未佳さん。その笑顔で、周りの人達の元気の源になることが目標だ。